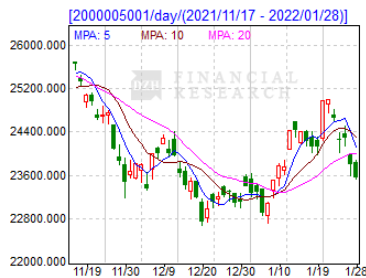




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	34,725.47	564.69	1.65	1.34	-4.44	36,338.30
NASDAQ	13,770.57	417.79	3.13	0.01	-11.98	15,644.97
日経225	26,717.34	547.04	2.09	-2.92	-7.20	28,791.71
上海総合	3,361.44	-32.81	-0.97	-4.57	-7.65	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,563.77	-56.10	-1.21	-4.51	-7.62	4,940.37
ハンセン	23,550.08	-256.92	-1.08	-5.67	0.65	23,397.67
中国企業	8,210.29	-81.01	-0.98	-6.57	-0.32	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は5.7%安と6週ぶりに反落、上海総合指数は4.6%安

香港市場ではハンセン指数が週間で5.7%安と大幅に6週ぶりに反落。米国の金融正常化やウクライナ情勢が警戒されるなか、前週まで5週続伸していたこともあり、旧正月の連休を前に持ち高調整の売りが広がった。27日には終値で節目の24000ポイントを割り込み、28日には3週ぶり安値をつけた。本土市場では上海総合指数が週間で4.6%安と反落。米金融政策の正常化やウクライナ情勢の悪化が警戒されるなか、1週間の連休入りを前に持ち高調整の売りが広がり、週末28日には約11カ月ぶり安値をつけた。

今週の展望:香港市場は海外市場次第の展開に、旧正月で1日半の取引

香港市場は海外市場次第の展開となりそうだ。31日が旧暦大みそかで半日立ち会い、2月1-3日が旧正月で休場となり、今週は1日半の取引。本土市場も1週間の休場となり、週末には1月の米雇用統計の発表を控える。旧正月連休や北京冬季五輪など大きなイベントのある週ではあるが、新型コロナの感染拡大やウクライナ情勢への懸念がくすぶるなか、連休期間中の海外市場の動向に左右される展開となりそうだ。なお、本土市場は1月31日から2月4日まで旧正月の連休で1週間休場となる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 HSBC(00005)	55.60	4.41
2 Чай・モバイル(00941)	52.55	2.54
3 バドワイザーAPAC(01876)	21.45	1.66
4 中電控股(00002)	79.00	1.02
5 中国建設銀行(00939)	5.96	1.02
6 Чай・ユコム(00762)	4.08	0.99
7 中国銀行(03988)	3.03	0.66
8 CNOOC(00883)	9.34	0.65
9 龍湖集団(00960)	45.15	0.22
10 ベトナム・ハイ(00857)	3.90	0.00

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 薬明生物技術(02269)	74.30	-17.08
2 BYD(01211)	219.80	-15.72
3 海底捞国際(06862)	16.38	-14.95
4 阿里健康(00241)	5.92	-14.70
5 吉利汽車(00175)	16.62	-14.51
6 小米集団(01810)	16.26	-14.06
7 アリババ集団(09988)	110.00	-13.45
8 JDドットコム(09618)	266.00	-13.13
9 美团(03690)	208.00	-12.61
10 中国生物製薬(01177)	5.35	-12.01

▼今週の主なイベント

- 1月31日(月)
- 【中国】旧正月で休場(～2/4)
- 【香港】旧暦大みそかで半日立ち会い
- 2月1日(火)
- 【香港】旧正月で休場(～2/3)
- 2月4日(金)
- 【中国】北京冬季五輪開幕(～2/20)

▼今週の期待材料

- ◆ 国家统计局発表の1月の中国製造業PMIは50.1、前月比0.2ポイント低下も市場予想上回る
- ◆ 北京冬季五輪が2月4日に開幕、中国勢のメダルラッシュへの期待が高まれば関連銘柄の追い風に
- ◆ 中国当局が中国の大手資産管理会社を招集、不動産会社のリスク資産買取について検討

▼今週の懸念材料

- ◆ 中国で新型コロナの感染続く、ゼロコロナ政策による厳格な行動制限が景気の下押し圧力に
- ◆ パウエルFRB議長が金融引き締め積極姿勢示す、週末に米雇用統計を控えて手控えムードが強まる公算
- ◆ ロシアによるウクライナ侵攻への警戒感高まる、ウクライナを巡る情勢緊迫化が相場の重しに

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中興通迅(00763): 21年本決算は大幅増益の見通し、主要部門がそろって増収確保
- ☆ BYD(01211): 半導体子会社の本土分離上場計画、深セン証券取引所の審査を通過
- ☆ 魏橋紡織(02698): 21年本決算は繊維需要の回復を背景に純利益3倍の見通し
- ☆ 中遠海運発展(02866): 21年本決算は需要拡大を受けて純利益2.7-3.2倍の見通し
- ★ 招商局港口控股(00144): 21年本決算は40%増益見通しも下期は伸び悩み
- ★ 中国東方航空(00670): 21年本決算は赤字継続の見通し、コロナ禍で国際線が低迷
- ★ 中国国际航空(00753): 21年本決算は国際線低迷や燃料価格上昇で赤字拡大の見通し
- ★ Чайナ・ユコム(00762): 米連邦通信委員会が米国での事業免許取り消しを発表
- ★ 華電国際電力(01071): 21年本決算は赤字転落の見通し、石炭価格高騰で打撃
- ★ 上海電気集団(02727): 21年本決算は減損損失計上などで赤字転落の見通し

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。